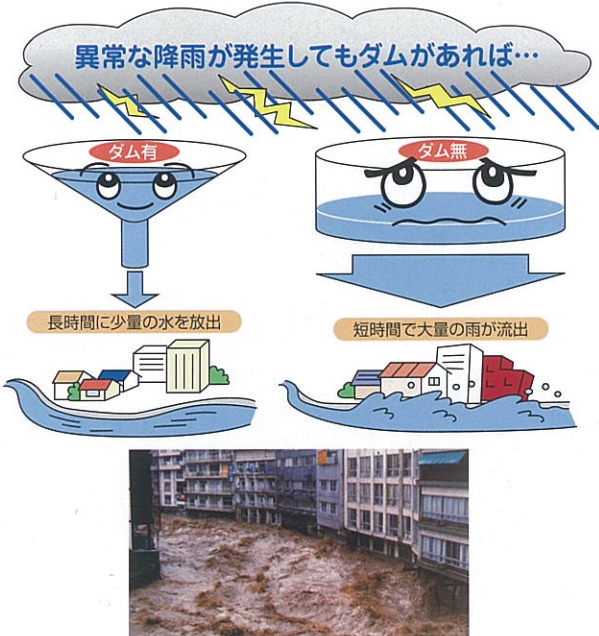


# ダムの役割



## 生命・財産を守る

ダムには入り口が大きく出口が小さい上戸のような働きがあります。一度に大量の水が流れ込んでも、洪水にならない程度の水を長期間に分けて下流に流し、洪水の発生を防いでいます。(洪水調節)



## 安定した水の供給

ダムは、水道用水、工業用水、農業用水、発電用水として利用するため、また河川環境を保全するために日々必要な水を下流に流しています。

ダムに水を貯えておくことによって、長期間雨が降らないときでも渇水被害の発生を未然に防ぐことができます。

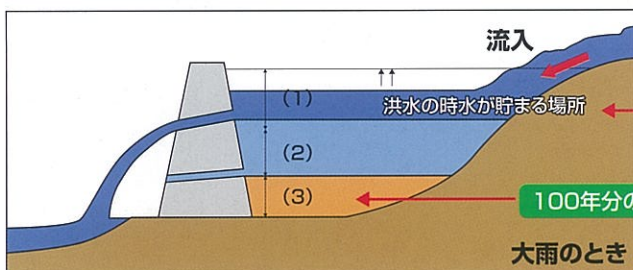


## ■ダムに貯まる水の使い分け

ダムには、利用する水を常時貯めている部分(利水容量)と洪水の時に一時的に水を貯める部分(洪水調節容量)があります。

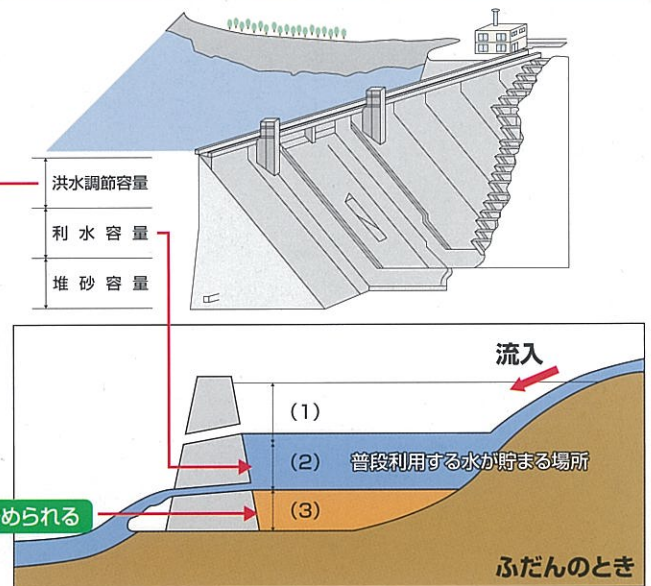
また底には上流からの土砂を貯められる部分(堆砂容量)を持っています。

これらを使い分け、大切な水資源を必要な時に必要な分だけ使うことができます。



### 大雨のときは、

上流から多量に流れ込んでくる水を(1)「洪水調節を行うための容量」に一時的に貯めて、下流に流れる量が少なくなるように調節します。



### ふだんのときは、

水道や農業、工業用水などや河川環境の保全の目的で(2)「利水のための容量」に貯めた水を流して、下流に必要な水が流れるように調節します。